

リ サ イ ク ル 計 画 書 (積算段階)

工事担当者が作成し、設計書に添付
(設計金額1000千円以上)

1. 事業(工事)概要

発注機関名	印旛農業事務所	工事名	弥富川 排水路護岸工事(その8)
施工場所	佐倉市岩富町地先	工期(予定)	契約の翌日から令和9年3月10日まで
工事概要等	排水路護岸工 L= 194.2 m		

2. 建設資材利用計画

建設資材	① 利用量	② 現場内利用量	③ 再生材利用量	④ 新材利用量	⑤ 再生資源利用率 (②+③)/①×100	備考
土 砂	2,045 地山m3	1,036 地山m3	地山m3	1,009 地山m3	51 %	
砕 石	トン	トン	トン	トン	%	
アスファルト混合物	トン	トン	トン	トン	%	
	トン	トン	トン	トン	%	

※ 最下段には、その他の再生資材を使用する場合に記入する。

3. 建設副産物搬出計画

指定副産物の種類	⑥ 発生量	⑦現場内利用量 (減量化量)	⑧他工事への 搬出量	⑨再資源化施設 への搬出量	⑩ストックヤードへの搬出量	⑪現場内利用率 (⑦/⑥) × 100	⑫有効利用率 (⑦+⑧+⑨+⑩) / ⑥ × 100	備考
建設発生土	第1種 建設発生土	地山m3	地山m3	地山m3	地山m3	%	%	
	第2種 建設発生土	地山m3	地山m3	地山m3	地山m3	%	%	
	第3種 建設発生土	2,045 地山m3	433 地山m3	地山m3	地山m3 1,612	21.2 %	100 %	
	第4種 建設発生土	地山m3	地山m3	地山m3	地山m3	%	%	
	泥土(浚渫)	地山m3	地山m3	地山m3	地山m3	%	%	
	合計	2,045 地山m3	433 地山m3	地山m3	地山m3 1,612	21.2 %	100 %	
コンクリート塊	トン	トン	トン	トン	—	%	%	
アスファルト・コンクリート塊	トン	トン	トン	トン	—	%	%	
建設汚泥	トン	トン	トン	トン	—	%	%	
建設発生木材	29 トン	トン	トン	29 トン	—	%	100 %	

※ 建設発生土の区分(既存資料から判断するものとする)

①第1種建設発生土・・・砂、礫及びこれらに準ずるもの。

④第4種建設発生土・・・粘性土及びこれらに準ずるもの。(第3種建設発生土を除く)

②第2種建設発生土・・・砂質土、礫質土及びこれらに準ずるもの。

⑤泥土(浚渫)・・・浚渫土のうち概ねq c 2以下のもの。

③第3種建設発生土・・・通常の施工性が確保される粘性土及びこれらに準ずるもの。

※ 建設発生木材の中には、伐開除根材及び剪定材を含む。

※ 建設汚泥、建設発生木材の、「⑦現場内利用」の欄には、上段に現場内利用、下段に現場内での減量化量を記入する。

※ 「⑩ストックヤードへの搬出量」には、他工事に再利用されることが予定される場合のみ記入する。

※ 「他工事」には、他機関の公共工事や民間工事も含む。